

○社会の要請・◇国の方針
 ○職業に関する教育の充実と、産業・就業構造の変化に対応できる若者の育成。
 ◇日本国憲法
 ◇教育基本法
 ◇学校教育法
 ◇学習指導要領
 ◇社会人・職業人として自立していくために必要な基盤となる能力や態度を育成すること。

保護者・地域の願い
 ○一町一中時代からの名残で、他校に比べて秀でて欲しいという願いが強い。
 ○進路相談等では謙虚な回答が多いが、旧高崎市内の高校への進学にこだわる保護者が多い。

学校教育目標
 未来を拓き、あたたかく、
 たくましい 生徒の育成

キャリア教育の視点からめざす生徒像
 夢や希望をもち、人と上手に関わりながら自らの進路を主体的に創造できる生徒の育成。

キャリア教育推進目標 (全体の指導目標)
 社会的・職業的自立に向け、生徒一人一人のキャリア発達を的確に把握し、適切に支援する。

1. 他者の立場を理解した上で自分の考えを伝え、自分の役割を果たしつつ協力・協働できる力を育成する。
2. やるべきことに対して主体的に行動するとともに自らを律しながら成長のために進んで学ぶ力を育成する。
3. 課題を発見・分析し、適切な計画を立てて課題を処理し、解決できる力を育成する。
4. 働くことの意義を理解し、情報を適切に取捨選択しながら、主体的に自分の進路を創造できる力を育成する。

生徒の実態
 ○いろいろなことに頑張ろうとする生徒が多いが、持続力を高める必要がある。
 ○人なつこい生徒が多い長所があるが、仲間と交わす言葉にやや乱暴さを感じる点が課題である。
 ○家庭における学習習慣や基礎的・基本的な学習事項の定着が不十分な生徒が見られる点が課題である。

地域の実態
 ○二つの小学校からすべての生徒が集まり、人間関係ができてきている反面、自己変革のチャンスが少ない。
 ○本校を卒業した保護者が多く、学校や教師に対する関心が高い。

各 学 年 の 指 導 目 標			
基礎的・汎用的能力	1学年	2学年	3学年
①人間関係形成・社会形成能力	○自己と他者それぞれの立場を理解し、互いに尊重する。 ○他者と協力して物事に取り組み、集団としてのよさが分かる。	○他者の立場を理解・尊重しながら、自分の考えを伝える。 ○仕事を通して世代や立場の違いを超えて協働し、その意義を理解する。	○互いの立場を理解・尊重し、建設的な人間関係を築く。 ○自分が置かれている状況を把握し、他者と協力・協働して社会に参画する。
②自己理解・自己管理能力	○自分の「できること・したいこと」を把握し、進んで学ぼうとする。 ○自らの感情を、集団とのかかわりの中でコントロールする。	○可能性を含めた自己肯定的な理解に基き、主体的に行動する。 ○自らの思考や感情を、集団とのかかわりの中でコントロールする。	○集団との関係の中で自己を肯定的に捉え、主体的に行動する。 ○社会や集団の中で自らの思考や感情を律し、望ましく振る舞う。
③課題対応能力	○目標達成に必要な条件について考え、当面の計画を立てて努力する。	○目標達成に向けて課題を見つけ、その解決のためにやるべきことについて、短期・長期の計画を立てて努力する。	○目標達成に向けて様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立てて実践・評価・修正しながら努力する。
④キャリアプランニング能力	○「働くこと」において、自分が果たすべき役割を把握し、進んで行動する。	○「働くこと」の意義について考え、自らが果たすべき役割を理解し、主体的に判断して行動する。	○「働くこと」の意義や、自らが果たすべき立場や役割について理解し、必要な情報を適切に取捨選択しながら、見通しをもって主体的に行動する。

各 教 科 等 に お け る 指 導 内 容				
各 教 科	道 徳	特別活動	総合的な学習の時間	保護者・地域との連携
○言葉を正しく聞き取ったり、使ったりする。 ○文章を正しく読み取ったり、書いたりする。 ○課題を分析し、見通しをもった思考・判断ができるようになる。 ○処理の途中で振り返りを忘れず、有効性を確認しながら進める。 ○自分の考えを筋道立てて相手に伝えられるようにする。 ○相手の意見に傾聴し、比較・分析をしながら、常に自分の意見を向上させる姿勢をもつ。 ○班活動においては、協力・協働して思考や作業に当たる。	○自分が属する集団の意義について理解を深め、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めようとする。 ○勤労の貴さや意義を理解するとともに、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努めようとする。 ○夢や希望をもち、その実現を目指して自己の人生を切り拓いていこうとする強い意志をもつ。 ○それぞれの個性や立場を尊重し、時と場に応じた適切な言動や思いやりの心を忘れず、望ましい人間関係を築く。	学級活動 集団意識をもち、生活上の諸問題の解決を図るとともに、学業生活の充実および将来の生き方と進路の適切な選択に向けて努力する。 生徒会活動 学校生活の充実・改善を図る活動やボランティア活動等を通して、個性を伸ばし社会性を高める。 学校行事 奉行的行事や、職業や進路にかかわる啓発的な体験・ボランティア活動等に、自主的・自発的に取り組む。	○学び方やものの考え方を身に付け、課題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組み、自己の生き方を考える。 ○進んで人にかかわり、コミュニケーション能力を高める。 ○職場体験学習やボランティア活動等に積極的に取り組み、習得した知識・技能を活用したり、新たな自己の課題を発見したりする。 ○ガイダンス機能の充実を図り、自己理解を深めるとともに、集団生活への適応と選択教科や進路の選択にかかわる力を高める。	○家庭との連携を深めながら、基本的な生活習慣の定着や望ましい進路の選択・決定を図る。 ○地域行事への参加や外部講師の活用、地域の学習材等を生かす。 ○職場体験や奉仕活動など、地域に出て体験学習を行い、地域の一員としての自覚や望ましい勤労観・職業観を育てる。 ○小学校と連携し、系統立てた学習を進める。